

高校生と意見交換を実施！

「超文化祭～みらいをつくるソーシャルアクションフェス～」

概要

令和元年12月22日(日)に新渡戸文化学園にて開催された、「超文化祭～みらいをつくるソーシャルアクションフェス～」に参加しました。

このイベントは、持続可能な未来を目指し、大人と学生の協働プロジェクトの事例を「知る」、大人と学生が未来を語り合い「つながる」、プロジェクトを応援するという「行動」がテーマとなっています。セブン-イレブンのブースでは「学生×コンビニ＝SDGs」をテーマに、高校生と一緒にコンビニで出来るSDGsの取組を考えました。

具体的には「レジ袋削減」「食品ロス」「ダイバーシティ」「SDGsな商品」について高校生と1時間超意見交換を行い、学生から様々な意見や要望をいただく事ができました。また、この文化祭をきっかけに、学生と連携を強めていきたいと思えます。



学生の事例発表風景



学生との意見交換会風景



ペットボトル減容回収機

学生からのコメント

「かわいくて、機能性のあるエコバックをお店で販売してくれたら、レジ袋をもらわず、エコバックを使いたい」

「フェアトレードマークやFSC認証など認証マークが付いている商品をもっとお店に置いてほしい！」

「再生ペットボトル素材だけで作られている一緑茶のパッケージはもっとリサイクル素材である事をアピールしたデザインに！」

関連情報

・超文化祭～みらいをつくるソーシャルアクションフェス～ HP
<http://www.thinktheearth.net/sdgs/mirai-tsukuru-bunkasai/>

本取り組みを通じ、多様な連携を促進し、地域におけるさまざまな課題解決に向けて取り組んでまいります。

